

佐川急便㈱と災害時支援物資等に関する協定締結 支援物資の受け入れおよび配送、人員派遣



9月30日、市と佐川急便株式会社は災害時に被災者へ物資の安定供給を行うことを目的として協定を締結しました。

物資集積所における物資の受入および配送、人員派遣を目的とした協定は、市では初めてとなり、本協定により、市内に大規模な災害が発生した場合、物資供給による被災者の生活の安定を図ることができると見込まれます。

協定締結式で、魚住幸弘北陸支店 支店長は「支援物資の輸送を通じて地域社会の発展に貢献していきたい」と話されました。

KAM能美市九谷焼美術館一職人工房 新入居者決定 小林巧征さんに合格通知を授与

9月29日、KAM能美市九谷焼美術館一職人工房への入居を認める合格通知を、井出市長から市内在住の九谷焼作家である小林巧征さんへ授与しました。

一職人工房一の4人目の入居者となった小林さんは「仲間と切磋琢磨していきたい」と話し、井出市長は「九谷焼の発展のために頑張っていただきたい」と激励しました。

小林さんは11月1日から一職人工房一で制作活動を開始します。工房内では、どなたでも気軽に作業風景を見学することができま



小林さん

開館時間…9時～17時
休館日…月曜日（祝日の場合翌日）
入館料…無料

地域活性化をめざした映画が製作されます！ 小松・能美市内でロケ実施



©「あきらめません」製作委員会

© 垣谷美雨 / 講談社

9月下旬から10月下旬の約1か月間、小松市・能美市内で、民間の映画製作委員会による劇場用映画のロケが行われました。能美市はシティブロモーションの環としてロケに協力しました。

映画の原作は作家・垣谷美雨さんの小説『あきらめません！』で、出演は永作博美さん、監督・脚本は大九明子さんです。

ロケの実施に当たり、エキストラの募集も行われ、市内外から多くの方が撮影に協力しました。

映画の公開時期は未定となっています。決まり次第、あらためてお知らせします。

「シナモロール」からメッセージ 能美市オリジナルのメッセージ

10月6日から市内に、市応援大使「シナモロール」のメッセージを聞くことができる音声装置を設置しました。どのようなメッセージを話してくれるかは聞いてからのお楽しみです。

設置場所は市役所に、能美ふるさとミュージアム、KAM能美市九谷焼美術館一体験館一のほか市内保育園・こども園などです。詳しくは市ホームページをご覧ください。



市役所に設置した装置

明治安田生命保険相互会社から寄附 市民の健康増進のため



明治安田生命保険相互会社金沢支社から市民の健康増進のため40万7500円のご寄附をいただきました。

10月7日、明治安田生命保険相互会社金沢支社長の常峰光雄さんが市役所を訪れ、井出市長から御礼状とお礼の品が贈呈されました。井出市長は「いただいたご寄附は市民の健康づくりに活用したい」と述べました。

地域共生交流館安全祈願祭・起工式 地域の誰もが集まる賑わい施設として

9月25日、能美市地域共生交流館の安全祈願祭・起工式が湯谷町の建設予定地で執り行われ、関係者が工事の安全を祈りました。

同館は鉄筋コンクリート造地上1階・地下1階として改築し、ユニバーサルデザインを取り入れ、さまざまな人に配慮した環境とするほか、ゼロカーボンであるペレットボイラーの使用や太陽光発電設備を設置するなど積極的にカーボンニュートラルの推進に取り組んでいます。

地域の誰もが自然に集まり、賑わいや交流が生まれ、多くの人々に親しまれる施設としてオープンする予定です。



式の様子

東京の中学生が修学旅行で能美市満喫 押しずし・里山・九谷焼を体験



9月25日、東京都世田谷区立桜木中学校が修学旅行で能美市を訪れ、押しずし作りや火、山体験、九谷焼絵付けなどを通して地元文化に触れました。

加賀押しずし研究会が郷土料理の押しずしの各工程を丁寧に指導し、中村均司代表がその歴史や各地の特徴を紹介しました。

里山体験では能美の里山ファン倶楽部の指導で竹コップ作りや火起こしを体験したほか、一体験館一で九谷焼の絵付け、一五彩館一・能美ふるさとミュージアムの見学なども行いました。昼食は和多農産（山田町）の新米を使った弁当で、和多真智代表が農業の魅力を語りました。

世界遺産検定1級のモデル間瀬遥花さんが魅力発信 市内の歴史的な魅力を発信する短編動画を制作

9月26日、能美市の歴史的な魅力を発信する動画撮影を実施しました。

撮影はテレビ小松に協力いただき、出演は東レ石川工場の協力で元東レキャンペーンガールで世界遺産検定1級所持者の間瀬遥花さんです。

撮影当日は間瀬さんが、能美ふるさとミュージアム、秋常山古墳群のみでん広場、健康ロードを巡り、歴史スポットを満喫しました。

制作した動画は、ケーブルテレビ「テレビ小松3」チャンネル及び市公式YouTubeチャンネルで視聴できます。

（視聴期間…令和8年3月末まで）



能美ふるさとミュージアムでの撮影の様子

ねりんピック出場者を激励 ふれあいと活力ある長寿社会へ



10月6日、第37回全国健康福祉祭ぎふ大会「ねりんピック岐阜2025」に出場する選手8名を井出市長が激励しました。

選手代表としてベタノクに出場する池田廣美さんは「病气やけがをせず、良い結果を報告できるように頑張ってください」と意気込みを述べられ、ほかの選手たちもそれぞれ代表に選ばれたことや、全国大会の競技の様子などを説明されました。

(第37回全国健康福祉祭ぎふ大会「ねりんピック岐阜2025」は、10月18日から21日にかけて岐阜県で開催されました)

全国障害者スポーツ大会出場者を激励 「わたSHIGA輝く障スポ」に出場

10月6日、第24回国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」に出場する横田茂さん(山口町)と宮原華代さん(寺井町)が市役所を訪れ、井出市長から激励を受けました。

陸上(100、200メートル)に出場予定の横田さんは「精一杯頑張ります」と述べられ、10月25日〜27日にかけて、滋賀県で開催されました。

陸上(50、200メートル)に出場予定の宮原さんは「楽しんで県内選手との交流を深め、タイムを1秒でも縮められるように頑張ります」と意気込みを述べられました。

(第24回国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」は10月25日〜27日にかけて、滋賀県で開催されました。)



右から横田さん、宮原さん

最高齢 おめでとーございます 市内最高齢の男女に記念品を贈呈

9月15日を基準日とした男性の最高齢は、104歳の北山俊男さん(大浜町)です。長

9月15日を基準日とした女性の最高齢は、107歳の北村芳子さん(末信町)です。が

のとれた食事を心がけられています。

女性の最高齢は、107歳の北村芳子さん(末信町)です。が

んばり屋な性格で、花

づくりや田んぼなど、

いろんなことを熱心

にされていました。国会

を視聴することや人と

話すことが好きだそ

うです。



北山さん(中央)

北村さん

祝百寿 南さんおめでとーございます いつまでもお元気で お祝い状と記念品を贈呈

9月20日、南わか子さん(湯谷町)がめでたく100歳を迎えられ、お祝い状と記念品が贈呈されました。

南さんは、折り紙や歌うことなど、趣味がたくさんあるそうです。また畑でいろんな野菜

を作られていました。手先がうまいことや、体を動かすことが長寿の秘訣だそうです。

98歳頃までは自宅で一人暮らしをされていました。現在は施設で、元気に過ごされています。



南さん

外国人との共生を考える講演会 企業や町会から約50名が参加



意見交換会の様子

9月12日、多文化共生社会の実現のため、企業や町会・町内会を対象に、外国人従業員受け入れ後のサポートについて先行事例紹介を交えた講演会を開催しました。

講師は、先駆的に外国人従業員へのサポートを実施している株式会社農園たやの田谷徹代表が務め、地域社会との関わり方についてお話しされました。講演会終了後には、当日出席した企業と町会・町内会の参加者が自由に意見を交わしました。

豪雨災害連携訓練 能美警察と市消防本部の連携強化

10月2日、能美市泉台町地内の泉台公園で、能美警察と市消防本部の合同訓練を開催しました。

この訓練は、令和4年8月に能美市で発生した豪雨災害や令和6年の奥能登豪雨において発生した災害を教訓

に、能美警察と連携を図り、迅速な救助活動

を目的に行いました。訓練内容は豪雨により河川氾濫や土砂災害で道路が寸断し、孤立集落が形成され、住民3名(負傷者を含む)が取り残されている想定で行いました。



警察との連携活動の様子

給食を残さず食べましょう

残食を減らす取り組み



学校給食は、成長期である児童生徒の心身の健全な成長を支えるために重要な食事です。しかし、市内小中学校の給食残食量は少なくありません。

能美市では「カレースプーン一杯運動」に取り組んでいます。これは普段の量に、あとカレースプーン一杯分を食べれば、残食量の3分の1を減らすことに繋がります。

根上中学校では1学期に、残食が多かった「白



給食の時間に白ごはんのPRをする栄養教諭

ごはん」と「汁物」の良い点などについての食育を行いました。2学期では同じく残食が目立つ「牛乳」の良い点について、掲示物や授業をとおして生徒に発信しました。

小学校、中学校で食育内容は異なりますが、残食が減り児童生徒が毎日健康で元気に過ごしてくれることが給食の第一目的です。自身の正しい食事必要量を知り、将来は自分で食事管理ひいては健康管理を行える大人になれるよう、これからもサポートしていきます。